

2020年度 もうひとつの放課後探しプロジェクト

活動報告書



目次

目次		1
放プロとは		3
大学生スタッフ(カゴメン)について	3	
キックオフイベントについて	4	
プロジェクトークについて		5
今年度実施プロジェクトについて		
・洋服のリメイク企画		
1. はじめに		6,7
2. 企画ミーティング		7
3. 企画当日		8,9
4. 最後に		9
・ギター企画		
1. はじめに		10
2. 企画ミーティング		10
3. 企画当日		11
4. 最後に		11
・ハンドメイド企画		
1. はじめに		12
2. 企画ミーティング		12
3. 企画当日		13,14
4. 最後に		14
・保護犬カフェ		
1. はじめに	15	
2. 企画ミーティング		15~17
3. 企画当日		17,18
4. 最後に		19
・スポーツ大会 & ギター上手くなろう計画		
1. はじめに		20
2. 企画ミーティング		20,21
3. 企画当日		21,22
4. 最後に		22

・放プロ11期カップ2021			
1. はじめに			23
2. 企画ミーティング			23
3. 企画当日			24
4. 最後に		24	
・ブルーライトアップ企画			
1. はじめに			25
2. 企画ミーティング			25
3. 企画当日			26
4. 最後に			26
・PRODUCEすずか			
1. はじめに		27	2. 企画ミーティング
	27,28	3.	企画当日
	29~32		
4. 最後に		32	
・いおりの女子力向上委員会			
1. はじめに		33	
2. 企画ミーティング			33
3. 企画当日			34
4. 最後に		35	
放プロ報告会について			36
収支報告			37
支出の部			
収入の部			
おわりに			38

「放プロ」とは

「もうひとつの放課後探しプロジェクト」いわゆる「放プロ」は、YEC(若者エンパワメント委員会)が主催する、静岡市近辺に住む中高生世代の若者が「放課後」という時間の中で、自分自身がやりたいことを実現するためのプロジェクトです。

中高生が、自分の生活を部活や勉強、塾などといった選択肢の中から選ぶのではなく、「やりたい」という想いを大切に、自分たちで「もうひとつの放課後」を描き、企画として形にしていけます。その過程を通して、学校という枠の中では感じられない様々な体験・経験を、学校を超えたつながりを持つことのできるプロジェクトです。

※今年度の放プロは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加者の安全と健康を考慮し、zoomなどを用いたオンラインでの活動が中心となりました。

大学生スタッフ(カゴメン)について

「カゴメン」とは、もうひとつのほう「かご」探しプロジェクト「メン」バーの略であり、このプロジェクトの大学生スタッフを指します。この大学生という立場は、中高生世代の若者にとって大きな意味があります。大人よりも近く、でも困った時には頼りにできる。大学生は中高生世代の若者にとってお兄さんお姉さんのような存在になれると私たちは考え、この放プロのサポートスタッフに大学生を選んでいきます。

カゴメンの役割は、中高生をエンパワメントすることです。具体的には、中高生の心の中にあるやりたいことを一緒に探すこと、それを実現するために中高生と一緒に悩むこと、放プロを中高生にとって居心地の良い居場所にする、中高生に自信を持って活動してもらうために背中を押ししたり見守ったりすることなどです。

カゴメンとして中高生を適切にエンパワメントすることは非常に難しいことです。そのため、中高生と関わる約1ヶ月前から「カゴメン研修」を行います。カゴメン研修では、中高生との関わり方や、放プロでのルール、カゴメンとしての意識・責任形成などを行います。この研修によって放プロ本番の心の準備をし、より適切に中高生と関わるができます。

また、放プロの進行中には、カゴメンが日々中高生と関わる中で生まれる沢山の悩みを共有し、解決策を考えたり、各企画の進捗状況を共有し、アドバイスしあう場として「カゴメンミーティング」を開催します。

プロジェクトークについて

プロジェクトークとは、参加者の中高生とカゴメンが集まり、各企画の進捗状況を確認したり、中高生同士の交流を深めることを目的とした会です。

9月から月1回のペースで行っています。

また、プロジェクトークの後には、カゴメンだけでその日の振り返り会を行い、中高生の様子、自分と自分以外のカゴメンの中高生に対する接し方はどうだったか、などを話し合います。



↑プロジェクトークの様子

今年度実施プロジェクトについて

古着のリメイク企画

実施日	2021年3月3日、11日
場所	青少年研修センター、富士宮市富士宮駅前交流センターきらら

1.はじめに

この企画は服や服のデザインを描くことが好きな高校2年生の女の子の思いから生まれた企画で、古着を使って彼女の好みや骨格に合うような服を作りました。

2.企画ミーティング

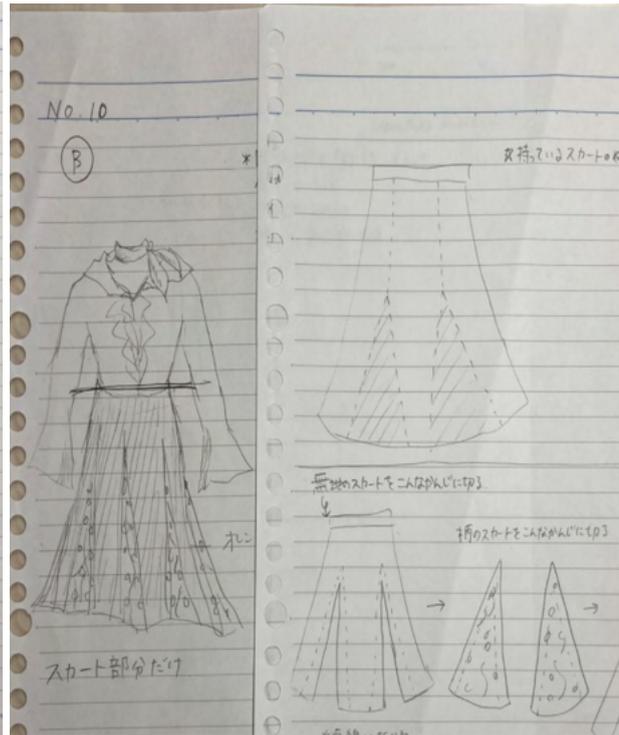
月に1回程度、zoomを利用して計7回行いました。企画本番以外で対面でミーティングをすることはできませんでしたが、オンライン上でも雑談をしながら楽しく進めることができました。

企画でやりたいことは沢山出てきましたが、その中でも服を作りたいという思いが強かったため、服のリメイク企画に決定しました。最初は型紙を作ったり布を切ったりするなどから服を作ろうと考えていましたが、カゴメンの友人である服飾関係の方にお話を聞いたところ、その難しさに気づき、古着を使ってのリメイク企画を行うことになりました。デザインは絵に描きながらいくつか考え、その中で出来そうなデザインを選び、それに合うような古着をZOZOUSUEDで購入し、企画を進めていきました。

企画を考えた高校生自身や担当カゴメンも服のリメイクをしたことがなく、知識がなかったため、先の服飾関係の方にどのように古着と古着を繋ぎ合わせたらいいか、どのように切る方法がいいかなどに関してアドバイスを頂きました。その方のおかげもあり、ミーティングを重ねるにつれてリメイクのイメージが膨らみ準備を進めることが出来ました。



←zoomミーティングの様子



←服のリメイクデザイン

3.企画当日

3月3日は青少年研修センターで、3月11日は富士宮市富士宮駅前交流センターきららにおいて、企画を実施しました。みんなミシンや裁縫に不慣れで苦戦しましたが、一緒に作業を行いながら計3着の服を完成させることが出来ました。ワンピースの生地の一部がよれてしまったりしましたが、イメージ通りに可愛く服を仕上げることができました。彼女も自分の理想の服を完成することができ、とても嬉しそうにしている姿が印象的でした。



↑企画本番の様子



←↑ 完成した服

4.最後に

報告会の時に企画者の高校生から、自分の想像を現実にできたことの嬉しさや、人見知りだったけれど回を重ねるごとに楽しく話せるようになったという変化を聞くことができ、カゴメンとしても嬉しく思いました。今年はオンライン上での活動が多く、中々対面で会うことはできませんでしたが、彼女の「やりたい」という思いを実現することができ素敵な企画となりました。

この企画に関わってくださった皆さま、ありがとうございました。

ギター企画

実施日	2021年3月14日
場所	静岡県立大学

1.はじめに

この企画は、楽器演奏の経験がほとんどない高校2年生の女の子がギターを弾けるようになりたいという思いから生まれた企画です。

2.企画ミーティング

企画ミーティングは毎回zoomを使用して行いました。やりたい企画がたくさんあったのでその詳しい内容について少しずつお話ししながら決めていきました。最初、12月にクリスマスパーティーを企画しました。みんなでお菓子を持ってきて分け合ったり、部屋をクリスマス仕様に飾ったり、コスプレをして楽しむという計画でした。また、韓国で話題のセンイルケーキを作りたいという意見も出たのでその準備なども考えていました。しかし、残念ながらコロナの影響で室内での飲食は危険だったため、この企画は中止になりました。

その後、企画者の高校生からギター企画をやりたいと意見が出て、その企画について話し合いました。ギターは初心者だったため、ギター経験のあるカゴメンに協力を依頼しました。曲は、特に弾いてみたかったDISH//の「猫」やあいみょんの「裸の心」に挑戦することにしました。

オンライン上でしたが、学校の話や部活のことなどいろいろなお話しをしながら、楽しくミーティングすることができました。



↑ zoomミーティングの様子

3.企画当日

企画本番は、快晴だったため、芝生公園で行いました。ギターの持ち方から始まり、最終目標であるDISH//の「猫」のコードを1つずつ覚えていきました。最初は、不慣れなギターに苦戦している様子でしたが、難しいと言いながらもあきらめずに一生懸命練習し、最後には曲に合わせて弾くことができました。ギターを練習する姿はもちろんですが、参加メンバーと楽しそうに過ごす姿も印象深かったです。

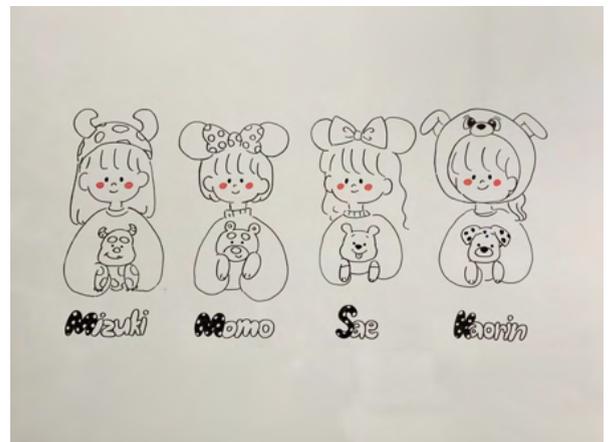


↑企画本番の様子

4.最後に

コロナ禍の影響を受け、企画が何度も延期・中止になってしまい、思うように進められなかった部分もありましたが、企画者の高校生が当初からやりたいと言っていたギター企画を無事に開催することができて良かったです。

最後の報告会では、企画者の高校生が「半年間があつという間だった。とても楽しかった。」と伝えてくれて、カゴメンとしてとても嬉しかったです。彼女の前向きな言葉や積極的で明るい姿にたくさんの元気をもらっていました。企画に関わってくださったみなさん、放プロを応援してくださったみなさん本当にありがとうございました！！



ハンドメイド企画

実施日	2021年3月17日
場所	企画者の高校生の家

1.はじめに

この企画は、同じ中学校に通っていた仲良し3人の女の子たちが、「ブレスレットやスマホケースなど自分たちで作ったものを売りたい」という思いを話してくれたことから始まりました。

2.企画ミーティング

それぞれの企画メンバー内だけではなく、企画を考えた3人とそのカゴメンも含め、みんなでミーティングを重ねました。参加者の高校生は、それぞれが自分の企画を並行して行っていたこともあり、3人での企画に使える時間は決して多くありませんでした。しかし、その限られた時間の中で、楽しみながら形にしていくことができたのではないかと思います。



←zoom企画ミーティングの様子



←企画を考えた3人

3.企画当日

彼女たちが考えたデザインをもとにスマホケースを作りました。サイトに出品するところまでは至りませんでしたが、「放プロの活動が終わってからも売りたい」と前向きに考えてくれていました。



←完成したスマホケース



↑作業中の様子

4.最後に

企画者の高校生3人とも学校などで忙しく自分の企画もあった中で、興味のあることを実現することができ、楽しく充実した時間になったのではないかと思います。カゴメンも3人の明るくて元気な姿を見ながら一緒に活動することができ、とても嬉しく思いました。ありがとうございました。

保護犬カフェ

実施日	2021年3月6日
場所	常盤公園

1.はじめに

企画者の高校生から、前年度の放プロの企画の中で、コロナウイルスの影響で開催中止となった保護犬カフェを自分がやってみたいという意見が出ました。また、「殺処分される犬を少しでも減らしたい」、「犬を飼っている人も飼っていない人も保護犬を知るきっかけとなれば」という思いから、企画が保護犬カフェに決定しました。そして、あたたかい空間を生み出すため、譲渡会とカフェを併設することにしました。

2.企画ミーティング



←zoomミーティングの様子

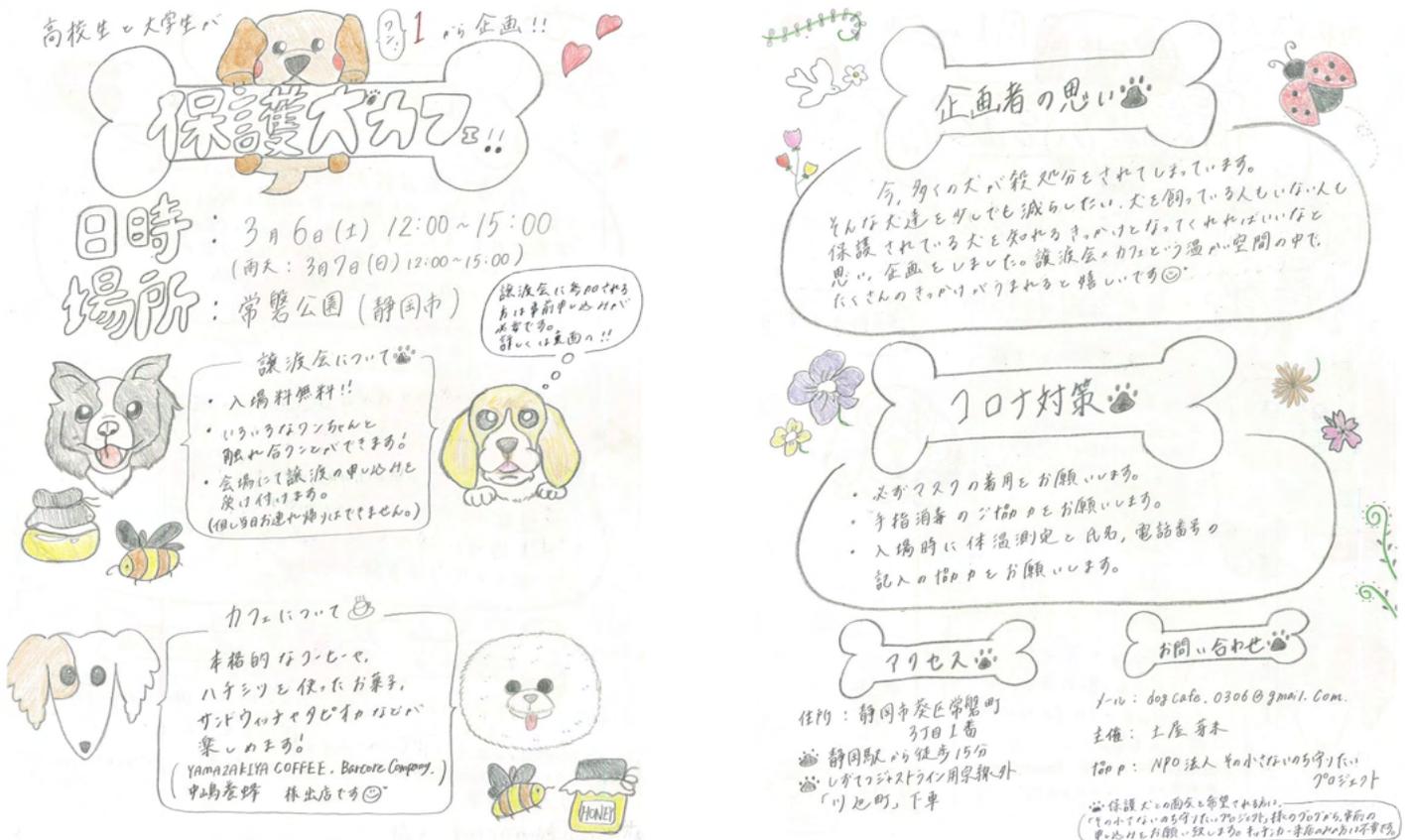
初めに動物愛護館に行き、譲渡会を開催するにあたってやるべきことや、静岡市内の犬猫を保護している団体を教えていただきました。後日企画者の高校生が譲渡会へ見学に行き、そこで「その小さないのち守りたいプロジェクト」とお話をし、今回の企画に協力していただけることになりました。

場所については当初、市内のドッグカフェで行うという案も出ましたが、コロナウイルス感染防止の観点や企画者が譲渡会を見に行った時に受けた印象から、屋外での開催を決め、また料金や立地を考慮して常盤公園に決まりました。その後は、常盤公園を管理している市役所の方に電話をして、公園を借りるために必要な書類について教えていただきました。公的な書類を書くのは初めてでわからないことも多く、苦戦しました。キッチンカーのお店は、インターネットを使って探し、メンバーで分担してアポ取りをしました。準備が進むにつれて、少しずつ当日のイメージを膨らませることができました。



←市役所の方にお話を聞いている様子

その後、広報のためにチラシを作りました。内容やデザイン、印刷枚数、配布場所など、考えることがたくさんありました。より暖かみを出すために全て手書きで作成しました。メンバーが1匹ずつ犬の絵を描き、企画者の抜群のセンスで素敵なチラシが完成しました。



↑完成したチラシ

インターネットやSNS上でのイベント情報の掲載や、常磐公園周辺の町内会の回覧板を通じて広報を行いました。チラシは1000枚印刷しましたが、広報が遅れてしまい全てを配ることはできませんでした。最後に、企画前日に譲渡会にきてくれる犬の紹介ボードを企画メンバーみんなで作成しました。



↑紹介ボード作成の様子



↑完成した紹介ボード

3.企画当日

当日は、天気も私たちのことを応援してくれたかのように見事な晴天でした。12時から15時の3時間でしたが、最後まで人が絶えず、300人ものお客さんが会場に足を運んでくれました。会場が公園だったということもあり、換気も十分でコロナ対策も万全にできたと思います。私たち企画メンバーは、入口で受付や手指消毒を行ったり、常盤公園周辺でチラシ配りを行ったりしました。最初はどのくらいお客さんが来てくれるか分からず不安でしたが、時間がたつにつれてどんどんお客さんが増えていき、大盛況でした。



譲渡会は事前申込制で、時間ごとに区切って行われていたのですが、何件か譲渡が決まったようでとても嬉しかったです。また、保護犬の紹介ボードを譲渡会ブースに置いたところ、多くの人に見ていただくことができました。



カフェブースでは、中嶋養蜂さんが自家製はちみつを使用したレモネードやワッフル、YAMAZAKIYA COFFEEさんが珈琲やオリジナルTシャツ、Barcore Companyさんがタピオカミルクティーやサンドウィッチを提供してくださいました。どのお店の商品もとてもおいしく、皆さんに楽しんでいただけたと思います。



4.最後に

企画者の高校生が、放プロを通じて自分の中での変化や成長を感じている様子や、報告会の時に「他の高校生よりも充実した半年間を送れた！」と言ってくれたことが、カゴメンとしてとても嬉しかったです。

今回の保護犬カフェ開催に至り、静岡NPO法人その小さいのち守りたいプロジェクトの皆様、ニャンつって！犬・猫塾の皆様、中嶋養蜂様、YAMAZAKIYA COFFEE様、Barcore Company様にご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



スポーツ大会 & ギター上手くなろう計画

実施日	2021年3月10日
場所	駿府公園、青少年研修センター

1.はじめに

この企画は昨年に引き続き参加してくれた中学生の男の子の、“ギターを上手く弾けるようになりたい”という思いや“体を動かしたい”という思いから生まれた企画です。

昨年度は動画を編集してPVを作るという企画が生まれました。今回は、前回とはまた違った新しい企画を行うことができ、色々なことに挑戦しようとする彼の姿を見ることが出来ました。

2.企画ミーティング

彼は11月から放プロに参加し、zoomや彼の実家で計7回の企画ミーティングを行いました。オンラインと対面の両方を活用しながらミーティングを行い、沢山話することができたため、企画メンバー内の仲も深まり、楽しく進めることが出来ました。最初のミーティングでは、VRを使ったゲーム大会&スポーツ大会、カラオケ上手くなろう計画、ギター上手くなろう計画の3つの企画の実施を考え、実現に向けてそれぞれ準備を進めていました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響や3つの企画の中での優先順位をミーティング内で話し合った結果、VRのゲーム大会とカラオケ上手くなろう計画は中止することにしました。

スポーツ大会に関しては、12月に場所や日程、種目を決定し、その後当日どのように進めるのかなどの詳細を考えていきました。当初、本番は1月下旬に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの状況を考慮し、3月に実施することに変更しました。

ギター企画に関しては、カゴメンの中にギターを弾ける人が3人いたため、そのメンバーと企画を考えた彼の4人で、一緒に教え合いながら曲を弾けるようになろうという目標のもと進めていきました。曲の選択については悩みましたが、TOKIOの「宙船」に決定しました。2月はこのギター企画を中心に進めていき、2月19日にzoom上で、2月25日に彼の実家で練習を行いました。彼自身もギター教室に通っていて、積極的に分からないところを聞いたり確認したりするなど、みんなと助け合いながら曲を弾けるようになろうと努力しました。



↑企画ミーティングの様子、ギター練習の様子

3.企画当日

スポーツ大会は駿府公園で、ギター上手くなろう計画は青少年研修センターで行いました。当日はとても気持ちの良い晴天で、昨年度の放プロに参加してくれた男の子やカゴメンの友人も企画に参加してくれ、計9人が集まりました。企画を考えた彼と担当カゴメンは9時半に集合し、最初にスポーツ大会の優勝チームの景品用にお菓子を買に行きました。10時過ぎくらいから準備運動のような感じで、簡単なボール投げや少人数でのドッジボール、サッカーを行いました。タイムテーブルを決めていましたが、午前中は時間を気にせず、やりたい遊びを自由に行っていました。昼食を食べた後は人数も増えたので、チームに分かれ対戦形式でドッジボールとサッカーを行いました。年齢関係なくみんな本気でスポーツをやっていて、とても楽しく、笑顔が絶えない時間となりました。彼も運動してとても疲れたと言っていました、みんなと話していくなかで仲を深められたとても素敵な時間になったと思います。



↑スポーツ大会の様子

15時過ぎくらいにはスポーツ大会は終了し、その後に18時くらいまでギター上手くなろう計画を行いました。この日は、彼が今まで練習したギターを披露してくれたり簡単にギターの弾き方を教えてくれたり、みんなで雑談したりするなど、ゆったりとした時間になりました。あまり集まったことのないメンバーだったので新鮮で、楽しい時間になったのではないかと思います。ギター企画は今後も続けていく予定です。



↑ギター上手くなろう計画の様子

4.最後に

企画を考案した中学生の男の子が、「久しぶりに体を動かすことができ良かった！」と言ってくれたことや、生き生きと大好きなギターについて語ったり、練習したりする姿を見て、担当のカゴメンとしてとてもやりがいを感じました。

スポーツ大会に参加してくれた方々、ギターを教えてくださいました方々に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

放プロ11期カップ2021

実施日	2021年3月23日
場所	駿府城公園周辺

1.はじめに

この企画は、放プロ参加者のみんなと、わちゃわちゃした雰囲気です。フットサルをしたいという中学生の思いのもと、誕生した企画です。

2.企画ミーティング

やりたいことを見つけるところから、当日のスケジュールやルールの決定まで、計6回の企画ミーティングを開催しました。受験生ということもあり、本人の都合に合わせてミーティングを開催しました。本人の意向や所要時間、新型コロナウイルスの感染拡大状況に対応するため、ZOOM、またはカフェのどちらかの開催方法をとりました。

最初は、緊張からか口数が少なかったものの、回数を重ねるうちに自分の考えをたくさん言ってくれるようになりました。フットサル企画の計画の際には、緩くわちゃわちゃした雰囲気での企画にしたいと言ってくれたり、初心者でも楽しめるようにルールを考えたりしました。

↑企画ミーティングの様子



3.企画当日

開催場所が直前になって使えなくなり、場所の変更があったことや、放プロ参加者への広報が十分にできなかったため、当日の参加人数は少なくなっていました。しかし、小規模ではありますが、終始わちゃわちゃした雰囲気、試合をすることができました。

4.最後に

慣れないオンラインでのミーティングや、受験との両立、企画実施における多くの変更など、企画当日までの過程で、様々な困難がありました。しかし、最後まで投げ出すことなく企画の準備に取り組み、無事に企画を実施することができました。

企画当日に参加してくれたカゴメン、中高生、この企画に関わってくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

ブルーライトアップ企画

実施日	2020年12月23日
場所	静岡サレジオ高等学校

1.はじめに

この企画は、新型コロナウイルス感染拡大の影響下、医療従事者の方々への感謝を伝えるために世界各地で行われた「ブルーライトアップ」を自分たちでもやりたいという高校生の思いのもと、誕生した企画です。

2.企画ミーティング

毎月行われたプロジェクトークに加え、月に1、2回程度行いました。新型コロナウイルスの感染拡大を考慮して、zoomを用いたオンラインで行う形となりましたが、アイスブレイクなどをはさみつつ進めることができました。

第1回の企画ミーティングから「ブルーライトアップをしたい」という意思が明確で、実現のために長い時間をかけて、たくさん話し合いを重ねていきました。



3.企画当日

企画本番は、高校生が通う学校の先生方のご協力のもと、実施しました。セロハンを用いて、本来は白色に光っている「静岡サレジオ高校」の文字を青く光らせることができました。



4.最後に

企画本番に参加して下さったカゴメン、ご協力いただいた学校関係者の皆様をはじめ、関わって下さった方々のご尽力のおかげで、企画本番を無事に終えることができました。この場をお借りして、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

PRODUCEすずか

実施日	2021年3月7日、3月14日
場所	青少年研修センター

1.はじめに

この企画では、花をテーマにモデルさんにフェイスペイントして撮影し、フォトアルバムを作成しました。具体的なメイクのデザインは、モデルさんのイメージや好みに合わせたお花をモチーフに作りました。

2.企画ミーティング

月に1、2回程度、計12回の企画ミーティングを行いました。基本的にはzoomを使ってオンラインで話し合うことが多かったですが、何度かセノバのフードコートに集まって話し合ったり、材料の買い出しに行ったり、メイクの練習を行ったりしました。



↑企画ミーティングの様子

最初はフェイスペイント企画、放プロ参加者のみんなで1つの絵を書く企画、ドレスを作る企画、ウェディングケーキのような大きなケーキを作る企画という4つのやりたいことがありました。カゴメンと高校生の間でたくさん話し合いを重ねた結果、時間と実行しやすさを考慮し、フェイスペイントの企画を開催することになりました。

フェイスペイントのモデルは、企画者の高校生の提案で彼女の企画をサポートしているカゴメンに決まりました。プロジェクトで他の参加者を募集したところ、高校生3人、カゴメン5人がモデルとして参加してくれることになりました。その内、1人の高校生がカメラマンも兼任してくれました。

モデルさんのメイクは、企画者の高校生の提案で、お花をテーマにすることにしました。モデルさん1人1人に好きな花と色を聞き、それを元にメイクの完成イメージのイラストを企画者の高校生が完成させてくれました。材料の買い出しでは、百均で造花、小さなお花のパーツやそれらを張り付けるためのつけまのりを買ったり、裁縫のお店でかすみ草を買ったりしました。

開催場所は当初大学の教室で行う予定でしたが、コロナの感染拡大を受けて教室を借りられなくなり、青少年研修センターで企画を行うことになりました。その後、当日のタイムテーブルや配置図、どのように撮影するかを決めていきました。

企画を開催するにあたって、高校生自身が考え、彼女の思い描く企画本番が開催できるように準備を進めました。



↑実際に高校生が書いたモデルさん1人1人のメイクのイメージイラスト

3.企画当日

2021年3月7日、14日に静岡市青少年研修センターで企画本番を行いました。新型コロナウイルスの影響で、一時は本番の実施が危ぶまれましたが、両日とも無事に実施することができました。

新型コロナウイルスの感染状況を考慮し、少人数で実施するため、企画本番を2日に分けたほか、換気、こまめな消毒、マスク着用を徹底して企画を行いました。

事前に企画者の高校生が考えたデザインと、参加者さんのリクエストやイメージを合わせてメイクをしました。企画者、参加者共に、誰かにメイクをする、誰かにメイクをしてもらうというのは、初めての経験になりました。想像以上にメイクが綺麗に仕上がったので、参加者さんはみんな大喜びで、互いにたくさん写真を撮りあっていました。企画者の高校生1人で何人ものメイクをするのは大変だったと思いますが、参加者さんに喜んでもらったこと、楽しんでもらったことで、彼女自身も達成感を感じられたようです。企画が終わったあとに感想を聞いてみると、「みんなが楽しかった！と伝えてくれたことがとても嬉しかった！」と笑顔で答えてくれました。

会場にはヘアアイロンを設置し、メイクが終わった人はヘアセットをして、完了したモデルさんから順次写真撮影を行いました。ヘアセットはヘアアイロンを使うのが得意な人が担当してくれました。撮影では企画者の高校生が白いカーテンや大きなバンダナなど背景になるものを家から持ってきてくれたのでそれを教室にあるホワイトボードに貼って撮影を行いました。雑誌のモデル風の写真やセルフイーショット、目元のアップなどメイクアップした綺麗な姿をカメラにたくさん収めました。後日、撮影した写真の中から厳選し、フォトブックを作成しました。



↑メイクをしている様子



↑ヘアセットをしている様子



↑1日目の参加者さん



↑2日目の参加者さん

↓作成したフォトブック





↑撮影風景

4.最後に

コロナ禍ということもあり、参加してくれた高校生とカゴメンが対面で企画を進めていくことがなかなかできませんでした。しかし、本番当日は高校生が積極的に新たなデザインのアイデアを考え出したり、モデルさんもメイクを気に入っている様子でとても素敵な企画となりました。

本番当日に施設の部屋を貸して下さった青少年研修センターの皆様、メイクのためにモデルをして下さった皆様、撮影のためにカメラを貸して下さった皆様、そしてこの企画に参加して下さった全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

いおりの女子力向上委員会(メイク&全身コーデ企画)

実施日	2021年1月31日、3月6日
場所	青少年研修センター

1.はじめに

この企画は、「メイクや洋服に興味を持ち女子力を上げたい」という企画者の高校生の思いから誕生しました。自分に似合うメイクや服を試して気に入ったものを実際に購入し、自分の新たな「好き」を知ることができる企画となりました。

2.企画ミーティング

月に1回を目安に計6回zoomを利用して行いました。本番まで対面で会う機会があまりありませんでしたが、オンライン上でミーティングを重ねる度に仲を深め、対面で会った際にも良い雰囲気企画を進めることが出来ました。

1回目のミーティングで、やりたい企画を挙げたところ全部で3つ出てきましたが、カゴメンと高校生の間でたくさん話し合いを重ね、彼女の中でやりたい優先順位を付けた結果、メイク企画と全身コーデ企画を開催することになりました。他に挙げたお菓子作り企画は、レシピ探しや材料の下見、予算設定など実行に向けて準備を重ねていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止に至りました。

企画ミーティングの中では、場所決めや日程調整のほか、普段のメイクやコーディネートを紹介しつつ、やってみたいメイクやコーディネートを話し合い準備を進めました。



↑zoomミーティングの様子

3.企画当日

メイク企画は1月31日に行いました。カゴメンが持ってきたメイク道具の中から彼女が使ってみたいものを選択し、ピンク系、オレンジ系、ブルー系の3パターンのメイクをしました。また、彼女が試してみたかったヘアアレンジも行いました。その後、実際に店舗に行って、企画で使ったコスメに近いものを探し購入しました。



↑1月31日本番の様子

全身コーデ企画は3月6日に行いました。前回の企画と同様に事前に選んでもらったカゴメンの私服で、コーディネートを組みました。全部で15パターンのコーディネートを試すことで、普段とは違った雰囲気ファッションを楽しんでもらい、その後購入したい服のイメージ作りをした上でいくつかのショップを巡り、気に入ったものを購入しました。



↑3月6日本番の様子

4.最後に

お菓子作り企画が中止になってしまったり、対面で会う機会がとれなかった中で、どのように企画を進めていくのか考えながら臨機応変に対応しました。中止になった企画もありましたが、無事決行できた2つの企画は成功し、お互い楽しんで彼女の”やりたい”を実現することができました。終始笑顔の絶えない思い出に残る活動期間となりました。この企画に関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



放プロ報告会について

放プロ報告会とは、本プロジェクトを終えた3月の下旬に行う報告会です。中高生の半年間の活動の成果、またその過程を通じて得られるものを中高生自身の声で社会に発信することを目的として行っています。

今期の報告会は、2021年3月21日に静岡県立大学で開催しました。手指消毒や室内の換気等、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、対面で行いました。

また、オンライン中継ではありましたが、講師として古田雄一さんをお招きしました。古田さんは、大阪国際大学・大阪国際大学短期大学部准教授で、シティズンシップ教育や子ども・若者の声や参加に関心を持ち、日本やアメリカをフィールドに研究をされている方です。



報告会では中高生がこれまでの活動をパワーポイントや模造紙にまとめ、一人一人発表してくれました。中高生からは「自分のやりたいことが実現できた！」「人前で話したり、提案できるようになった！」「色々な人との繋がりが出来た！」などの感想を聞くことができました。カゴメンとして中高生をサポート出来て良かったと心から思いました。

また、報告会の中では、カゴメンから中高生一人一人にみんなでメッセージを書いた色紙をプレゼントしました。



収支報告

支出の部

種別	摘要	金額
旅費交通費	MT等の交通費	¥ 53,740
消耗品費	模造紙代、紙コップ代、救急セット代、除菌シート代、文具代、出金伝票等	¥ 4,180
印刷製本費	募集チラシや報告会のチラシの印刷代	¥ 3,212
通信運搬費	中高生募集チラシ郵送費	¥ 6,452
食糧費	イベントでのお菓子、飲料代	¥ 1,708
賃借料	企画、イベントでの施設使用費	¥ 1,100
材料費	企画での材料費	¥ 58,308
講師謝礼費	放プロ報告会講師謝礼費	¥ 30,000
支出額合計		¥ 158,700

収入の部

種別	摘要	金額
助成金	さわやか福祉財団「地域助け合い基金」	¥ 122,000
自己資金		¥ 36,700
収入額合計		¥ 158,700

おわりに

2020年度第11期「もうひとつの放課後探しプロジェクト」を実施するにあたり、さわやか福祉財団「地域助け合い基金」より助成金を頂きました。また、多くの方が私たちの活動にご協力くださいましたことを、心より感謝申し上げます。

2021年 4月30日

YEC(若者エンパワメント委員会)

【YEC(若者エンパワメント委員会とは)】

YECは静岡県立大学の学生を中心に活動しています。

若者が社会の一員として自身を持ち、社会の中で「こうありたい」という自分を実現させている状態、そしてそれを通じて若者が社会のチカラになっている状態を実現することを目指して発足しました。

内閣府担当特命大臣より平成25年度社会貢献青少年表彰をいただきました。

【お問い合わせ】

Email yec.information@gmail.com

HP <http://youth-empowerment.jimdo.com/>